

ツクルバ 2024年7月期 第3四半期決算を発表
**売上高・売上総利益・営業利益の全てが過去最高値を更新し、利益進捗が100%超、
先行投資を加速**

当社は、本日2024年6月14日、2024年7月期 第3四半期決算を発表しました。詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

*

以下プレスリリース

■2024年7月期 第3四半期連結業績ハイライトおよび今後の見込み

四半期売上高は1,722百万円（前年同期比+74%）、売上総利益は825百万円（前年同期比+29%）、営業利益は137百万円（前年同期比+149百万円）となり、全てが過去最高値を更新しました。

売上総利益は期初予想に対して堅調に進捗しており、期初想定に着地を見込みます。営業利益以下の段階利益については当四半期時点で通期連結業績予想を超過しており、第4四半期においては来期に向けた先行投資として営業組織の拡大およびマーケティングの強化などを実施します。

（注1）2023年7月期以前は連結会計を行っていないため、前年比較においては単体会計の数値を参照しています。

（注2）2023年11月1日付の不動産企画デザイン事業の譲渡完了を踏まえ、売上高および売上総利益の前年比較はカウカモ事業のみの数値を参照しています。

ハイライト

当四半期は、売上高・売上総利益・営業利益が過去最高値を更新しました。通期連結業績予想に対する進捗を踏まえ、第4四半期においては、来期に向けた先行投資を実施する予定です。

2024年7月期 第3四半期連結業績 (2024年2月～2024年4月)	売上高・売上総利益は、堅調に推移。期初方針に沿った全社生産性の向上により、営業利益が大幅に改善	
	売上高 ^{*1}	1,722 百万円 (前年同期比 ^{*2} +57%、調整後 ^{*2,3} +74%)
	売上総利益 ^{*1}	825 百万円 (前年同期比 ^{*2} +21%、調整後 ^{*2,3} +29%)
	営業利益	137 百万円 (前年同期比 ^{*2} +149百万円)
	<カウカモ事業KPI^{*4}>	
	GMV	15,936 百万円 (前年同期比 ^{*2} +12%)
	テイクレート	5.2 % (前年同期比 ^{*2} +13%)

2024年7月期 通期連結業績予想	当四半期時点で、営業利益以下の段階利益が通期連結業績予想を超過。第4四半期においては、来期に向けた先行投資を実施するため、通期連結業績予想を据え置く	
	売上高	5,200 百万円 (前年比 ^{*2} +25%、調整後 ^{*2,3} +35%)
	売上総利益	2,800~3,000 百万円 (前年比 ^{*2} +11~19%、調整後 ^{*2,3} +15~23%)
	営業利益	150 百万円 (前年比 ^{*2} +282百万円)

^{*1} 売上高と売上総利益の乖離は、自社企画商品の販売増に起因 (P9)

^{*2} 2023年7月期以前は連結会計を行っていないため、単体会計の数値を表示・参照

^{*3} 2023年11月1日付の不動産企画デザイン事業の譲渡完了を踏まえ、カウカモ事業のみの増減率を表記

^{*4} 決済ベース

■今後の展望

2024年7月期においては、全社生産性の向上を通じた営業利益の創出に最注力しています。

2025年7月期においては、カウカモ事業のマーケティング強化および営業組織拡大を通じた事業拡大に注力します。創出した利益を、通期増益の範囲内で、持続的な成長に向けた基盤構築に再投資する想定です。具体的には、新規領域の立ち上げ、プロダクト・サービスの改善、マネジメント・業務プロセスの強化などへの投資を行います。

今後の展望

2024年7月期においては、全社生産性の向上を通じた営業利益の創出に最注力しています。2025年7月期においては、通期増益の範囲内で、カウカモ事業の持続的な成長に向けた先行投資を実施する想定です。

2025年7月期 財務方針	通期増益の範囲内で、持続的な成長に向けた先行投資を実施 <ul style="list-style-type: none">当期の生産性向上を経て、2025年7月期においては、カウカモ事業のマーケティング強化および営業組織拡大を実施加えて、創出利益を持続的な成長に向けた基盤構築に再投資（新規領域の立ち上げ、プロダクト・サービスの改善、マネジメント・業務プロセスの強化等）
市場環境の認識	引き続き、中古・リノベーション住宅需要の緩やかな継続拡大を想定 <ul style="list-style-type: none">中古・リノベーション住宅市場は、住宅実需の受け皿として、経済環境に大きな影響を受けず継続成長することが見込まれる（詳細はP29を参照）金利や為替の変動については、大勢に影響がないと見込まれる（詳細はP46のQ&Aを参照）
(再掲) 中長期方針	持続的な利益創出力を高め、成長機会への再投資を行っていくことで、住まいの流通を革新し社会に必要不可欠な存在となる <ul style="list-style-type: none">カウカモ事業のGMV高成長を継続しつつ、営業生産性やマーケティング効率の改善、バリューチェーンの統合を通じ、持続的な利益創出力を向上創出キャッシュフローを中核事業の成長に再投資。周辺領域における新規事業やM&A等の成長投資機会にも機動的に対応拡大する中古・リノベーション住宅市場において、一人でも多くの人に安心・手軽に住まいを楽しめるサービスを提供し、住まいの流通に必要不可欠な存在となる

© 2024 TSUKURUBA Inc. 5

■詳細のご案内

詳細は、当社IRページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>

<株式会社ツクルバ 会社概要>

やがて文化になる事業をつくり続ける場の発明カンパニー。「『場の発明』を通じて欲しい未来をつくる」というミッションのもと、デザイン・ビジネス・テクノロジーをかけあわせた場の発明を行っています。

<https://tsukuruba.com/>

会社名：株式会社ツクルバ（東証グロース 証券コード：2978）

所在地：東京都渋谷区恵比寿 4-3-14 恵比寿 SS ビル 7F

設立：2011年8月

代表者：代表取締役 CEO 村上 浩輝

事業内容：中古・リノベーション住宅のマーケットプレイス型の流通プラットフォーム「cowcamo（カウカモ）」（<https://cowcamo.jp/>）の企画・開発・運営、家売りたい人と買いたい人のマッチングサービス「ウルカモ」（<https://cowcamo.jp/urucamo>）の企画・開発・運営など